



## 「海域港湾空港プロジェクト・技術報告会 in 福岡」を開催

### 概要

九州地方整備局港湾空港部と九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門は、海域港湾空港プロジェクトに関する関係者間の情報共有を図り、今後の更なる技術開発促進の一助とするため、「海域港湾空港プロジェクト・技術報告会 in 福岡」を平成 26 年 3 月 10 日（月）に開催します。

### 背景

近年、九州・下関地区においては、民間企業、大学、国などの産学官が協働して活発な技術開発が行われています。これらの技術は円滑なプロジェクトの推進に資するのみならず、土木学会や国際港湾協会などから表彰されるなど、対外的にも高い評価を得ています。

そこで、これらの技術について、全国他地域の技術開発の最新動向と併せて関係者間で情報共有を図り、今後の更なる技術開発促進の一助とするため、「海域港湾空港プロジェクト・技術報告会 in 福岡」を下記のとおり開催することとしました。

### 内容

「海域港湾空港プロジェクト・技術報告会 in 福岡」

- ・日 時：平成 26 年 3 月 10 日（月）13:00 ～ 17:55
- ・場 所：ホテルクリオコート博多 4 階 「バロック」  
福岡市博多区博多駅中央街 5-3 TEL：092-472-1111
- ・主 催：九州地方整備局港湾空港部  
九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門
- ・プログラム：別紙のとおり

※ 当日の取材を希望される方は、取材申込書（別紙）に必要事項を記載の上、2 月 28 日（金）18 時までに九州地方整備局港湾空港部広報室あてお申し込み下さい。  
詳細は別紙「取材要領」をご覧ください。

### 【お問い合わせ】

大学院工学研究院 教授 春日井 康夫  
電話：092-802-3398  
FAX：092-802-3398  
Mail：kasugai@civil.kyushu-u.ac.jp

## 取材要領

### 1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、九州地方整備局港湾空港部広報室まで、FAXにて事前申し込みをお願いします。事前申込みが無い場合は、取材ができませんのでご注意ください。

(1) 申込期日は、厳守でお願いします。(2月28日(金)18:00必着)

・申込先 (FAX 番号) 092-418-3031

※申込期日に間に合わない場合は、取材ができない場合があります。

(2) 別紙様式に以下の事項を記載して下さい。

・所属クラブ名

・会社名及び部署名

・取材者の役職・氏名 (取材者全員の役職・氏名を記載願います。)

### 2. 当日の受付及び留意事項について

・受付場所：ホテルクリオコート博多 4階「パロック」

福岡市博多区博多駅中央街5-3

TEL：092-472-1111

・受付時間：12:30～12:50

#### <留意事項>

・取材はカメラ撮りのみです。

・取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用願います。

・会場内では、「報道関係者席」にご着席頂くとともに、撮影は予め定められたスペースもしくは「報道関係者席」からお願いします。

・会場の都合により、会場内で電源をとることはできません。パソコン等を使用される場合は、バッテリー等をご持参願います。

・その他、取材にあたっては、係員の指示に従って下さい。

(別紙)

## 取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により、下記連絡先まで FAX でお申し込み下さい。

申込み締切は、2月28日(金) 18:00迄です。

申込み先 (FAX 番号) 092-418-3031

所属クラブ (所属するクラブに○をつけて下さい)

- ・国土交通省九州記者会
- ・九州専門建設記者クラブ
- ・その他 ( )

会社名及び部署名

取材者 役職・氏名 (全員の役職・氏名を記載願います。)

① (代表者)

②

③

④

連絡先 (代表者の連絡先)

上記のとおり取材を申し込みます。

九州地方整備局 港湾空港部 広報室 あて

# 海域港湾空港プロジェクト・

## 技術報告会 in 福岡

近年、九州・下関地区においては、民間企業、大学、国などの産学官が協働して活発な技術開発が行われています。これらの技術は円滑なプロジェクトの推進に資しているのみならず、土木学会や国際港湾協会などから表彰されるなど対外的にも高い評価を得ています。そこで、これらの技術について、全国他地域の技術開発の最新動向と併せて、関係者間で情報共有を図り、今後の更なる技術開発促進のための一助としようというものです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



八戸港北防波堤

日時 2014年 **3**月 **10**日(月)

13:00~17:55 (12:30 開場)

場所 ホテルクリオコート博多 4階「バロック」

福岡市博多区博多駅中央街5番3号 TEL: 092-472-1111



新湊大橋

**参加無料・要事前申込・定員150名(先着順)**

### 申し込み方法

聴講希望者は、別紙申込書に社名(所属)・氏名・意見交換会参加の有無等必要事項を記載し、FAXにて下記までお申し込みください。(締め切り:2月28日まで必着)

### 申し込み・問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 総務室 (担当:原田、鉄田)  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅前東2丁目10-7 福岡第二合同庁舎

TEL 092(418)3340 FAX 092(418)3031

地盤工学会 CPD プログラム 認定

主催:九州地方整備局港湾空港部、九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催:地盤工学会九州支部

協賛:九州大学産学官連携本部、(一財)沿岸技術研究センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭(株)



# 海域港湾空港プロジェクト・技術報告会 in 福岡

## プログラム

<司会> 村岡 猛 (九州地方整備局港湾空港部 部長)

13:00～13:05 開会挨拶 大野正人 (九州地方整備局 副局長)

### 第Ⅰ部 全国の先進的土木技術の紹介

13:05～13:35 基調講演1「産官学による新技術の開発と活用」

善 功企 (九州大学 特任教授、NPO 法人研究機構ジオセーフ 理事長)

13:35～14:00 東日本大震災からの復旧(八戸港北防波堤) <平成24年度土木学会技術賞受賞>

神山豊 (東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所 所長)

14:00～14:25 新湊大橋の技術的特徴とデザイン <平成24年度土木学会田中賞受賞>

山本大志 (北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所 所長)

14:25～14:40 <休憩>

### 第Ⅱ部 産学官の技術展望

<司会> 山内恒 (九州大学産学官連携本部 准教授)

14:40～15:10 基調講演2「産官学による共同研究の現状と課題」

春日井康夫 (九州大学 工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門 教授)

15:10～15:30 港湾空間からの温室効果ガス排出量削減技術

篠田岳思 (九州大学 工学研究院海洋システム工学部門 教授)

15:30～15:50 関門航路の埋没特性の解明

山城賢 (九州大学 工学研究院附属アジア防災研究センター 准教授)

15:50～16:10 釜石湾港防波堤の津波に起因する浸透流による破壊

笠間清伸 (九州大学 工学研究院 社会基盤部門 准教授)

16:10～16:20 <休憩>

16:20～16:30 九州地方整備局管内で進む港湾・空港の技術

村永努 (九州地方整備局海洋環境・技術課 課長)

16:30～16:50 コンテナターミナルにおける物流情報化技術

中村勇志 (博多港ふ頭(株) 事業企画部営業課 課長)

16:50～17:10 フィルタープレスによる浚渫土砂の減容化技術

長野敏之 (りんかい日産建設株式会社 九州支店土木部 次長)

17:10～17:30 曲り削孔を用いた浸透固化処理工法による福岡空港の液状化対策

林健太郎 (五洋建設(株) 技術研究所 副所長)

17:30～17:50 鹿児島港臨港道路における計測施工による橋梁整備技術

宮原裕二 (安部日鋼工業九州支店 若築・安部日鋼JV東開作業所)

17:50～17:55 閉会挨拶 江頭和彦 (博多港ふ頭(株) 社長)

(18:10～ 意見交換会 於同場所、会費 5,000 円、要事前申込)